

○ 本校の概要

児童数:407、学級数:12、教員数:19
平成23年度より「おおたサイエンススクール」指定校(おおた教育振興プラン 大田区教育委員会 理科教育研究推進校)
平成25年度より 文部科学省教育課程特例校 サイエンス・コミュニケーション科新設
近隣に、東京工業大学があり、平成19年に大田区と東京工業大学が連携・協定に関する基本協定を締結しており、東京工業大学研究室訪問や、東京工業大学留学生との交流、サイエンスや管弦楽団サークル、マイスター(鳥人間コンテスト参加チーム)等との交流を行っている。

○ 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

Table with 10 columns: 大項目, 目標, 取組内容, 取組指標, 取組評価, 目標に対する成果指標, 成果評価, これまでの取組今後の改善策, 学校関係者記入欄 (評価人数, コメント). Rows include: ブラン1 未来社会を創造的に生きる子供の育成, ブラン2 児童・生徒一人ひとりの学ぶ意欲を高め、確かな学力を定着させます, ブラン3 子ども一人ひとりの正義感や自己肯定感、自己有用感などを高めるとともに、自他の生命を尊重する心を育成するなど、未来への希望に満ちた豊かな心をはぐくみます, ブラン4 スポーツに親しむ心の育成や、運動習慣の定着による体力の向上など、生涯にわたって健康増進を図る意識の向上をめざします, ブラン5 児童・生徒が安全・安心に学校生活を送るために、教員の指導力向上と良質な教育環境づくり, ブラン6 学校・家庭・地域が担う役割などを明確にし、地域に開かれた教育の実現を目指します。また、相互の連携を深め、子どもを育てる仕組みを作ります。

○「成果評価」は、各校が4段階で定めた成果指標によって行う。
○記入にあたっては、各学校で取り組んでいる自己評価項目に照らし、該当する項目を取りまとめて行う。
○学校関係者評価の「評価」は、A:自己評価は適切である B:自己評価はおおむね適切である C:自己評価は適切ではない D:評価は不可能である の4点について、評価した人数を記載す